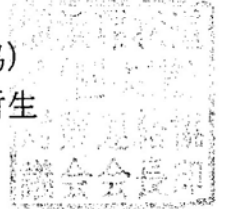


平成 25 年 2 月 12 日

再々質問並びに要請書

横 浜 市 長  
林 文 子 様

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）  
会 長 比留間 哲生



昨年 12 月 20 日付で「広報よこはま市版 11 月号」に関する再質問書を提出したのに対して、本年 1 月 31 日付貴職の回答を受領しました。今回の回答は当方の質問に答えず要請にも応じないばかりか、広報の記事の件について行政には何ら落度がなく、むしろ読む側の市民に読む上での配慮を求める内容になっています。これは横浜市民として到底容認できず、強く抗議するとともに間違った記事内容を広報を通じて速やかに訂正するよう下記のとおり改めて要請します。

記

「広報よこはま市版 11 月号」の記事に関して当方は昨年 12 月 20 日付で貴職宛再質問書を提出し、南線が整備されると横浜都心と八王子 JCT 間の所要時間が大幅に短縮されるというのは事実を曲げて市民を欺くものであり、今後の広報よこはまを通じて訂正するよう求める文書を送付した。

これに対して、本年 1 月 31 日付道事第 666 号で貴職は「広報よこはま」に掲載の内容については、市民に誤解を与える内容にはなっていないとして、今後訂正する意志はない旨の回答をした。その理由として、『「広報よこはま」に掲載の「首都圏の高速道路ネットワーク図」に記載のとおり、さがみ縦貫道路は平成 26 年度の完成を目標としています。また、横浜湘南道路は横浜環状南線と同様に開通年度は検討が必要となっておりますが、平成 27 年度を開通目標としています』と述べた上で、このため「広報よこはま」に掲載しているように横浜環状南線が整備されると、横浜都心と八王子 JCT 間の所要時間が大幅に短縮されることになるとしている。つまり、広報に掲載の「高速道路ネットワーク図」を見て他道路の進捗状況を知った上で、「南線が整備されると、…」を読むべきであり、そうすれば誤解することはないというのである。これは広報の記事の誤りではなく「高速道路ネットワーク図」と併せ読まない市民の方に誤解の原因があると言わんばかりである。広報を作成した行政には何の落度はなく、問題は読む側、つまり市民にあるというこの責任逃れの主張には呆れて言葉もな

いが、貴職が本気でこのように主張するとすれば、これは市民として決して容認できない。ただ貴職がどのように弁解し、さらに否定しようとも広報にある、「南線が整備されると、…」の記述は間違いであり、今後の広報を通じて訂正すべきであり、このことを強く求めるものである。